

NEWS RELEASE



報道発表資料

2025年11月14日

報道関係者各位

株式会社ティー・ケー・ピー
(東証グロース:証券コード 3479)

TKP、エスクリを子会社化し、ノバレーゼと経営統合 国内最大級のブライダルグループ誕生へ

NOVARESE

株式会社ティー・ケー・ピー(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:河野 貴輝、以下 TKP)は、2025年11月14日付で、保有する株式会社エスクリ(本社:東京都中央区、代表取締役社長 CEO:渋谷守浩、以下、エスクリ)のA種種類株式に付与される普通株式を対価とする取得請求権の一部を行使し、連結子会社といたしました。

これに伴い、TKPの連結子会社である株式会社ノバレーゼ(本社:東京都中央区、代表取締役社長:荻野洋基以下、ノバレーゼ)とエスクリは、経営資源の最適化と事業シナジーの最大化を目的として合併することを決定いたしました。なお、合併は両社の株主総会での承認を条件に2026年4月1日の効力発生を予定しております。

■本日 11月14日(金)16時~

株式会社ノバレーゼと株式会社エスクリの経営統合に関する3社合同記者発表

配信 URL:<https://youtube.com/live/jCKxEH5cCRw?feature=share>

■統合に至った背景

ノバレーゼは2000年の設立以来、「Rock your life — 世の中に元気を与え続ける会社でありたい」という理念のもと、地方都市を中心にシンプルで洗練されたデザインの婚礼施設を展開してきました。ドレス・引き出物などのアイテムを内製化することで、高品質なサービスと高い顧客満足度を実現しています。

エスクリは、2003年の設立以来、東京23区や政令指定都市を中心に、利便性の高い立地で多様な婚礼施設を運営してきました。加えて、店舗・オフィスの設計施工や建材販売など、建築・不動産分野にも事業を広げています。

近年、ブライダル業界を取り巻く環境は、ライフスタイルの多様化や消費行動の変化に伴い大きく変化しております。TKPはこうした環境の変化を「新たな成長のチャンス」と捉え、ブライダル業界全体の効率化と業界再編の実現に挑戦するため、業界内での連携を進めてまいりました。

TKPはこれまで、遊休資産となっているオフィスビル・宿泊施設・ホールといったスペースを、会議室・宿泊研修施設・ビジネスホテル・イベント会場等として再生・シェアリングすることで、新たな価値を創造してまいりました。この空間再生ノウハウを、ブライダル施設にも展開し、両社が運営・保有する施設の稼働最適化を図ることを目指しております。

NEWS RELEASE



TKPは事業再生・業界再編・地方創生を成長戦略の柱として掲げており、その一環として変革期を迎えるブライダル業界に焦点を当て、2024年12月にノバレーゼを連結子会社化、そしてこのたび、エスクリを連結子会社といたしました。このような流れの中で、TKPを中心としたグループ内での事業連携が進み、今回の経営統合にいたりました。

■統合により生まれるシナジー

(1)全国を網羅する婚礼ネットワークの構築

エスクリが展開する大都市圏の駅直結型施設と、ノバレーゼが展開する地方都市中心の施設ネットワークを組み合わせることで、全国をカバーする強固なブライダル拠点網を形成します。両社の統合により、自社運営の婚礼施設は1都2府28県68施設に拡大し、売上規模は450億円に達し、ブライダル事業の売上規模で国内最大級のポジションを確立します。知名度と競争力をさらに高めます。

(2)内製化の相互活用と利益率向上

両社はドレス、装花、映像など婚礼関連アイテムを内製化しており、ノバレーゼの直営ドレスショップやエスクリの建設関連子会社を相互に活用することで、商品・サービスの付加価値を高め、建設・施エコストを抑制します。これにより、利益率の向上と品質の均一化を実現します。

(3)コスト削減とスケールメリットの拡大

広告宣伝費や仕入れ、システム、人材採用などを一体化することで、経営効率を高めます。SNSを活用した新たな集客戦略の導入により、従来の情報誌依存型の広告モデルから脱却し、より費用対効果の高い広告運用を進めます。また、共同調達による仕入コストの低減や本社機能の統合による効率化を図り、安定した経営基盤を確立します。

(4)人材・ノウハウの融合による新領域の拡大

両社の教育・研修プログラムを統合することで、スタッフの接客力・提案力をさらに強化します。グループ全体での採用活動や人材交流を促進し、サービスの品質向上を図ります。さらに、TKPグループの不動産・M&A情報を活用し、レストラン、ハネムーン、フォトウェディングなどの周辺事業領域を拡大することで、挙式後のライフィベントまでを支える総合的な顧客体験を創出します。



ノバレーゼの歴史的建造物を再生した結婚式場(左上)と郊外型の婚礼施設(左下)とエスクリの都市型の婚礼施設(右)。経営統合で、全国に様々なタイプの婚礼施設を擁するブライダル企業に

■統合後のビジョン

結婚式の施行件数が年々減少する中で、ブライダル施設の新たな活用価値が求められています。両社との共同ブランド「CIRQ(シルク)」では、ブライダル施設の平日の稼働率向上を目的に、法人利用の拡大に取り組んでいます。ブライダル施設が持つ非日常的で洗練された空間は、企業の表彰式や懇親会、周年イベントなど、特別な一日を演出する法人利用にも最適な空間です。TKP の保有する3万社におよぶ法人顧客基盤を活かし、企業とブライダル施設をつなぐ送客サービスを展開しています。「平日は法人利用、週末はウエディング」という運用モデルをさらに強固にすることで、ブライダル施設を「特別な日のためだけでなく、人が集う、日常を祝う場所」として再定義するとともに、安定した収益の確保と施設の新たな価値創出を目指します。

両社は統合を機に、「結婚式を通じて、人生の喜びと感動を広げる企業グループ」として、新しい価値を提供してまいります。ブライダルを核としながら、人生のあらゆる節目に寄り添う「ライフセレモニー・ブランド」への進化を見据えています。結婚式だけでなく、プロポーズ・記念日・家族の集いなど、人生の喜びを祝福するあらゆる場面をトータルに支える企業グループとして成長し、人と人、人と地域、人と未来をつなぐ「幸せのプラットフォーム」となることを目指します。

合併後の連結売上高は450億円に達する見込みで、ブライダル事業の売上規模では業界最大級に浮上します。両社がそれぞれ培ってきた強みに、TKPのノウハウを融合させることで、これまでの既成概念を打ち破る「業界有数の婚礼事業グループ」を誕生させ、業界再編の先駆けとしてブライダル市場に新たな価値を提供してまいります。

TKPは、これまでの空間再生流通事業に加え、事業再生・業界再編・地方創生という再生を軸とした重層的な成長戦略を、TKPグループ全体が持つ(人材・情報・不動産・設備等)を活用することによって推進し、企業価値を高めてまいります。

・TKP11月14日発表「持分法適用関連会社の連結子会社化に関するお知らせ」:

<https://pdf.irpocket.com/C3479/IAG8/aObG/cdU8.pdf>

・TKP11月14日発表「当社連結子会社間の合併契約締結に関するお知らせ」:

<https://pdf.irpocket.com/C3479/IAG8/aObG/Rud2.pdf>

・ノバレーゼ・エスクリ11月14日発表「株式会社ノバレーゼと株式会社エスクリの合併契約締結に関するお知らせ」

NEWS RELEASE



【株式会社ノバレーゼ 会社概要】

会社名	株式会社ノバレーゼ
代表者	代表取締役社長 荻野洋基
本社所在地	東京都中央区銀座一丁目 8 番 14 号 銀座 YOMIKO ビル4F
設立	2000 年 11 月 1 日
資本金	100 百万円(2024 年 12 月末現在)
決算期	12 月
連結売上高	19,299 百万円(2024 年 12 月期)
事業内容	ブライダル事業(婚礼プロデュース部門、婚礼衣裳部門、レストラン部門)・ レストラン特化型事業
URL	https://www.novarese.co.jp/

【株式会社エスクリ 会社概要】

会社名	株式会社エスクリ
代表者	代表取締役社長 CEO 渋谷守浩
本社所在地	東京都中央区日本橋小網町 6 番 1 号 山万ビル
設立	2003 年 6 月 19 日
資本金	50 百万円(2025 年 3 月末現在)
決算期	3 月
連結売上高	26,179 百万円(2025 年 3 月期)
事業内容	挙式・披露宴の企画・運営を行うブライダル事業
URL	https://www.escrit.jp/

【株式会社ティーケーピー 会社概要】

会社名	株式会社ティーケーピー
代表者	代表取締役社長 河野貴輝
本社所在地	東京都新宿区市谷八幡町 8 番地 TKP 市ヶ谷ビル 2F
設立	2005 年 8 月 15 日
資本金	16,388 百万円(2025 年 2 月末現在)
決算期	2 月
連結売上高	59,208 百万円(2025 年 2 月期)
事業内容	フレキシブルスペース事業、ホテル・宿泊研修事業、 イベントプロデュース事業、BPO 事業、料飲・パンケット事業
URL	https://www.tkp.jp/

※プレスリリースに記載されている情報は、発表日現在の情報であり、時間の経過または様々な後発事象によって変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ティーケーピー 広報担当 田中、立田

TEL:03-6843-0011 MAIL:pr@tkp.jp